

平成 28 年 9 月 30 日

新潟市水道事業管理者
水道局長 井浦 正弘 様

新潟市水道事業経営審議会
会 長 大川 秀雄

新・新潟市水道事業中長期経営計画（新・マスタープラン）の
事業・取り組みに関する 2 次評価について（報告）

平成 28 年 9 月 29 日に開催した, 平成 28 年度第 1 回新潟市水道事業経営審議会において,
新・新潟市水道事業中長期経営計画（新・マスタープラン）の平成 27 年度の事業・組み
みに関する 2 次評価について審議した結果, 下記のとおり決定しましたので報告します。

記

1. 2 次評価の結果・・・別紙のとおり

新・マスタープラン2次評価結果一覧表

施策	事業・取り組み	方向性	経営審議会編評（局案）	経営審議会編評（局案）に対する事前意見等	当日提案のあった意見等	方向性	経営審議会編評
I 水質管理の充実・強化	I-1 水源水質の監視	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	I-2 水安全計画の充実・適切な運用	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	I-3 水質管理体制の強化	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	I-4 新潟市独自の管理目標による水質管理	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	I-5 分かりやすい水質情報の提供	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
II 給水装置における水質保持	II-1 学校施設の水飲み水栓の直結給水化	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	II-2 貯水槽清掃率向上に向けた新たな啓発活動の検討・実施	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	II-3 指定給水装置工事事業者の技術力向上	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
III 水道施設の計画的更新	III-1 浄水施設の計画的更新	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	III-2 管路施設の計画的更新	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	III-3 鉛給水管の計画的更新	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
IV 震災対策・体制の強化	IV-1 浄水施設の計画的耐震化	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	IV-2 管路施設の計画的耐震化	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	IV-3 重要施設向け配水管の耐震化	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン2次評価結果一覧表

施策	事業・取り組み	方向性	経営審議会編評（局案）	経営審議会編評（局案）に対する事前意見等	当日提案のあった意見等	方向性	経営審議会編評
IV 震災対策・体制の強化	IV-4 配水管網のブロック化の推進	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	IV-5 大ブロック間の相互連絡管の整備	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	IV-6 事故・災害時における復旧体制の強化	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
V 経営基盤の強化	V-1 アセットマネジメントによる適正な資産管理	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	V-2 定員・給与の適正化	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	V-3 業務効率化に向けた民間委託の検討・実施	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	V-4 遊休資産の有効活用	改善・見直し	太陽光発電事業者への有償貸付は残念な結果であったが、遊休資産の有効活用は、経営基盤の強化を図るために有効な事業である。今後は、売却も含めた新たな有効活用について、情報収集や調査・研究を進め、財政基盤の強化に努めること。	・遊休資産活用について引き続き検討願いたい。ただし、遊休資産保有によりコストが発生している場合、早めの売却判断も必要 ・多くの事業、取り組みにおいて維持が続く中、この項目は、これからの強化において重要なこと。スタッフ以外からも幅広い知見によって進めてほしい。	・「残念な結果であったが」という表現では抽象的すぎるため、「未実施であったが」という表現で記載してはどうか	改善・見直し	太陽光発電事業者への有償貸付は未実施であったが、遊休資産の有効活用は、経営基盤の強化を図るために有効な事業である。また、遊休資産保有によりコストが発生している場合、早めの売却判断も必要であることから、売却も含めた新たな有効活用について、幅広い知見、情報収集、調査・研究を進め、財政基盤の強化に努めること。
	V-5 時代に即した料金制度等の検討・実施	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	V-6 水道事業経営審議会の効果的運用	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
VI 積極的な情報提供とお客さまニーズの把握	VI-1 戦略的な広報の実施	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	・広報関係は昨年度から、ずいぶんわかりやすく変化してきたと思う。他の部署との連携も功を奏したと思う。		維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	VI-2 お客さまの意見・要望の把握	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	VI-3 分かりやすい経営情報の開示	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	VI-4 放射性物質を含む浄水汚泥の適切な管理と情報提供	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
VII 技術・知識を有する人材の確保と育成	VI-1 人材育成と専門性の強化	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		・水道事業は高い専門性があり技術継承は非常に重要である。再任用職員については、職員数全体380人のうち38名採用しており、いままでの経歴や高いスキル有しており水道事業の技術継承に大いに貢献している。	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。なお、技術継承にあたっては、再任用職員の活用も有効である。

新・マスタープラン2次評価結果一覧表

施策	事業・取り組み	方向性	経営審議会編成（局案）	経営審議会編成（局案）に対する事前意見等	当日提案のあった意見等	方向性	経営審議会編成
Ⅶ技術・知識を有する人材の確保と育成	Ⅶ-2 諸外国との水道技術研究交流	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	・大切な水環境は世界的な問題。色々な方面から学んでほしい、また、新潟市水道局の技術面もおおいに発揮し、これらを見据えた士気を高める方向で進んでほしい。		維持	大切な水環境は世界的な問題であることも認識し、情報収集に努めるとともに、新潟市水道局としての技術を生かすことを含め、引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	Ⅶ-1 建設副産物の再利用促進	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	Ⅶ-2 水道局環境計画の策定と推進	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。			維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。